

平成30年度 第2回学校評議員会 議事録

- 1 日時 平成31年1月22日(火)
13:25～14:10 授業見学
14:20～15:10 評議員会
- 2 出席者 学校評議員 4名 (1名欠席)
本校職員 8名 校長 副校長 事務長 総務主任 教務主任
生徒指導担当 進路指導主事 保健主事
- 3 校長挨拶
- 4 教育活動の概況説明(要旨)

(1) 平成30年度 教育活動の概況

ア) 授業と家庭学習の充実による学力の向上(教務主任)

- ・小人数の強みを生かし、一人ひとりに応じたきめ細かい指導を実施してきた。
- ・朝学習等を利用し学び直しにも取り組んでいる。
- ・3年間を通して基礎学力を計画的に養成し定着を図っている。

イ) 豊かな心を育む生徒指導の推進(生徒指導担当)

- ・生徒は基本的な生活習慣を意識し、明るく元気に登校している。怠惰な遅刻、欠席はほとんどない。
- ・交通安全に関しては、登下校時などに交通事故案件があり、注意喚起を行った。
- ・いじめアンケートを3回実施し、2件をいじめ認定した。早期対応で全て解決している。
- ・高校総体ボート部男子の総合優勝、郷土芸能委員会の来年度全国高総文祭への出場、スキー部の国体出場、個人で応募した高校総体プログラム図案の最優秀賞受賞など素晴らしい活躍があった。

ウ) キャリア教育の推進と生徒の進路目標達成(進路指導主事)

- ・3年生の進路は、進学・就職希望者とも全員が内定し、100%を達成した。
- ・進学対策として外部模試を実施したが、自己採点のほか教員による問題解説を予定している。
- ・卒業生による進路ガイダンスを初めて実施した。講師を務めた卒業生にとっても後輩との交流は社会人としてよい経験となった。
- ・町内外の企業の協力のもとインターンシップを行った。また、町観光商工課と連携し町内事業所見学を初めて実施した。仕事や地元企業を理解する良い機会となった。

エ) 健やかな心身を育み、環境に配慮する教育の推進(保健主事)

- ・小人数の強みを生かし、職員による丁寧な指導により、生徒の「掃除力」は高い。
- ・毎日の清掃活動やワックス塗布など全員で協力して校舎の清掃活動を行ってきた。生徒によるワックス塗布後の校舎内は、ピカピカに輝いている。
- ・慈善活動としてエコキャップ活動を継続して行ってきた。
- ・特別に支援が必要な生徒には、県、町、病院、施設などと情報を共有し、個別の指導計画を作成し一人ひとりに応じた支援を行ってきた。
- ・関係機関との連携により、タイミングを逃さない指導、支援ができています。

オ) 地域との協働及び地域への貢献と復興教育の推進(総務主任)

- ・あいさつ運動、思郷祭など学校行事には、多くの保護者や地域の方々に協力をいただく

き実施してきた。

- ・山田高校生徒会行事参加など、復興教育に取り組んでいる。
- ・雫石町「復興ありがとうホストタウン」事業の取組として、東京での報告会参加、また、ドイツへの渡航も予定されている。

カ) 教職員の資質向上と教育への信頼確保(副校長)

- ・11月には本校教員全員が、雫石中学校の授業を見学し、指導の連携を図ってきた。
- ・各種調査やアンケート、学校評議員からの意見などを参考とし、実態や現状を把握し、業務のスクラップ&ビルドに取り組んでいる。

キ) 魅力ある学校作りに向けた取組(副校長)

- ・「雫石高校将来ビジョン」では、タブレットPCの整備による広報活動や教育活動の充実、町スクールバスによる大学見学や企業訪問、外部講師による講座やガイダンスの拡充、中学校での高校説明会の実施などを実施してきた。

(2) 平成30年度 学校評価アンケートの結果(副校長)

昨年11月に保護者及び生徒に対して実施した。生徒は、公欠などを除き員が回答。保護者からの回収率は全体で87%である。

生徒アンケート結果では、「授業の内容等は、8割以上の生徒が適切と捉えており、7割以上の生徒が『授業はわかりやすい』との回答している。また、保護者アンケート結果では、「進路指導について、9割近くの保護者が、適切に行われている」など、生徒、保護者とも、全体を通して、昨年度より、「そう思う、どちらかというと思う」回答が増えており、高い評価をいただいている。

5 学校評議員からの質問・意見・提言

- ・いじめ事案は、どのようないじめ事案であったか。
(→相手をからかうような馬鹿にする言動があったこと。)
- ・いじめ事案で 携帯やSNSによる事案はあるのか。
(→ない。)
- ・交通事故はどのような事故であったか。
(→自転車と自動車との接触事故である。事故発生後、速やかに警察に届けを行い、病院へも行った。幸いにも大きな怪我はなかった。)
- ・学校評価アンケート結果をみて、数値的に1年生は、保護者も安心している状況がよく分かる。2年生は、数値やグラフでみると「そう思う」が少ないように見えるが、実数表記なので2学年の分母が少ないためそのように見える。実数ではなく割合(%)表記の方が、学年比較は、わかりやすのではないかと思います。検討をお願いしたい。
- ・私も生徒会の副会長を経験した。生徒会をやって苦労もしたが、社会人となり生徒会の研修などでいろいろな所へ行き、大人の話聞いたその経験は、とても役に立っている。やっておいて良かったと思っている。雫石高校生には、色々な機会に大人や社会人の話を聞かせてほしい。将来、必ず役に立つ。
- ・少人数学校の特色のいい面を十分に生かしてほしい。
- ・自分の命は、自分で守るということを、子供たちに教育してほしい。社会人になると自分で守るしかない。例えば、バスでは進行方向の左側(歩道側)に座ること。落下物の危険がある工事中の建物の下は歩かない。など。
- ・人を助けるボランティア精神を意識した教育をさらに進めてほしい。
- ・前回も今回も授業参観をした。少人数でファミリー的な面もあり、きめ細やかな授業をしていると見受けられた。今日のように授業参観しているときよりも、普段はもっときめ細かい授業をしているのではないかと感じた。非常に良いと思った。私の出身校は、400名規模の学校だったため、自分も少人数の学校で学びたかった。

- ・今年の冬休みに非行や少年補導の案件はなかった。雫石高校も案件はなかった。雫石高校生は安心してみている。
 - ・あいさつ運動は、できる限り参加している。あいさつは、非行防止の原点であり、大変役立っている。警察として夜勤明けでも毎回参加したいが、失礼する時もあり申し訳ない。意義のある伝統行事であるため、続けてほしい。
 - ・冬の交通事故に気をつけてほしい。歩行中でも車がスリップしてくる場合もあるので、十分に注意してほしい。事故が起きた場合は、現場にとどまり直ぐ警察へ連絡してほしい。現状検分をするためである。連絡は、110番通報でよい。物損事故でも構わないので速やかに通報をお願いします。
 - ・先生方は、特に朝方の酒気帯び運転に注意してほしい。また、事故を起こしても、決して逃げないこと。事故は過失であるが、逃走は故意にあたる。
 - ・いじめについては相談してほしい。生活安全課や少年課と協力し、いつでも対応する。
 - ・授業の様子を見て、どのクラスも生徒がしっかりと集中し落ちついた授業を受けていたことに感謝したい。
 - ・小原校長には、本校（雫石中学校）で高校の説明していただいた。雫石高校や町への思いが生徒や保護者によく伝わったと思っている。
 - ・復興ありがとうホストタウン事業では、雫石中学生が雫石高校生と一緒に研修ができて良かった。ドイツ渡航による研修も楽しみにしている。
 - ・ボランティア活動では、雫石中学生と雫石高校生と一緒に活動する機会があった。高校生が活動する姿や、先輩から後輩へのメッセージは中学生にとってとてもありがたく、大変よいことである。できるだけ多くの活動機会が設けられればよい。
- ・授業を見学してみて、みな熱心に勉強している姿をみて安心した。先生方の指導の賜物と思っている。
 - ・私がPTA会長の時は、中学校との交流は、年1回程度であった。中学校との交流をもっと深めて、入学者数の確保をお願いしたい。中学校長さんにもお願いしたいが、雫石高校への進学者を増やしてほしいと思う。1学級募集であるが、人数を増やし2学級募集になるように期待したい。
 - ・就職率100%は、大変素晴らしいことと思う。企業側も高齢化が進み、若い人材確保と育成に努めている。地元採用の企業も多いことと思うので、地元で働く人材の育成や指導をお願いしたい。

6 その他 校長より謝辞

7 閉会

